

平成 26 年 6 月 16 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2010～2013

課題番号：22241056

研究課題名(和文) アラブ社会変容の動態的研究 パネルデータの収集と分析を中心に

研究課題名(英文) Study on the Dynamics of Arab Social Transformation - Focus on Collection and Analysis of Panel Data

研究代表者

加藤 博 (Kato, Hiroshi)

一橋大学 ・ 名誉教授

研究者番号：10134636

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 36,400,000円、(間接経費) 10,920,000円

研究成果の概要(和文)：社会調査での世帯単位でのマイクロデータの収集とそのパネル化を中心に、エジプトとヨルダンを中心としたアラブ諸国が現在直面している社会経済問題を多角的かつ実証的に明らかにするための基礎データ・情報を収集し、そのデータベース化を計った。なかでも、世帯単位のマクロデータのパネル化を重視し、そのために、過去に世帯調査を行った村や町において追跡世帯調査を実施した。現在、それらのデータ・情報の解析を進め、その成果の一部はすでに学会報告や学術雑誌への投稿などで公表しているが、その結果、世帯を静学的な経済行動において分析するほか、異時点間の変動の解明によって動学的に分析する基礎が築かれた。

研究成果の概要(英文)：The main aim of this project is to construct a database for the empirical study on the social economy in the Arab countries; especially Egypt and Jordan that are now facing severe social and economic problems. For this aim, the project focused on collecting and panelizing household-based micro data obtained by conducting social surveys at the smallest unit of administration: village and towns. The panel data are constructed by repeating the survey of the households concerned after several years, and used for analyzing the social and economic changes at household level. This method is effective to clarify not only the static economic actions of the heads of the households concerned; patterns of consumption, saving, employment and so on, but also the dynamics of the changes in economic life, life cycle and so on. Some parts of the research results has already been published based on the collected household-based micro data.

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：アラブ 社会変容 世帯調査 パネルデータ エジプト ヨルダン

## 1. 研究開始当初の背景

(1) これまでのアラブ世界の社会経済に関する地域研究は、法令を含む記述資料に基づく制度分析が中心であった。これに対して、統計に基づく定量的、ならびに社会調査に基づく定性的な実証研究は大きく後れを取っていた。とりわけ日本において、このことは顕著である。それは、これまでアラブ諸国では、統計的なデータ・情報が不備であったほか、政治的、軍事的理由から、かかるデータ・情報へのアクセスがきわめて困難であったからである。

(2) こうした研究環境は今世紀に入って、開放経済の進展と情報公開の進展によって改善されつつある。その結果、世界銀行などの国際援助機関を中心に世帯単位でのミクロデータが収集され、それに基づく分析が進展した。しかし、それでも、その分析のほとんどは、政府作成のマクロ経済社会統計データに基づくものであり、独自の社会経済調査によるミクロ統計データの収集とそれに基づく分析はきわめて稀であった。そこで、本研究の研究代表者は平成 14 年以来、エジプト、ヨルダン、イエメンの三カ国で、それぞれの国の統計局と学術協力協定を結び、統計局と共同で独自の社会経済調査を実施、世帯単位でのミクロ統計データの収集に努めてきた。

## 2. 研究の目的

上記研究状況に鑑みて、本研究では、平成 14 年以来進めてきたエジプト、ヨルダン、イエメンにおける統計局との共同での世帯単位でのミクロデータの収集を継続するとともに、作業をさらに一歩進め、それまでに収集されたデータのパネル化を計ることを研究目的とした。と同時に、アラブ諸国の社会経済状況を多角的かつ実証的に分析するために、こうした統計分析のほか、研究手法に空間分析を取り入れ、関連する地理情報の収集に努めた。

## 3. 研究の方法

(1) 収集された世帯単位でのミクロデータ、とりわけそのパネル化による統計分析と、統計データを地図の上で視覚化する空間分析を接合するための手段として GIS (地理情報システム) に注目した。

(2) アラブ諸国の社会経済状況を多角的に分析するために、データ・情報の収集のためにアラブ諸国の統計局の協力を仰ぎ、共同調査を組織するとともに、データ・情報の解析のために学際的かつ国際的な研究グループを組織した。

## 4. 研究成果

(1) イエメンについては、政情不安のため研究は進捗しなかったが、エジプトとヨルダンについては、初期の期待以上の成果を上げることができた。

(2) エジプトとヨルダンで、統計局の協力を仰いで、人口、社会経済、中小企業に関する長期の時系列統計の多くの生データを手し、解析した。そのなかで、主たる成果は、下記の〔雑誌論文〕

に代表されるエジプト社会の人口動態・人口移動・失業・貧困に関する分析であり、〔雑誌論文〕に代表されるエジプト中小企業の生産効率性に関する分析である。

(3) エジプトでは、以下のような研究成果を得た。少なからぬ発展が観察される七つの地方都市 (総世帯数 4,000) において世帯調査を実施した。平成 14, 15 年に調査した 10 の村 (6,000 世帯) において、平成 15 年に調査したカイロの 2 つの町 (1,200 世帯) において追跡世帯 (パネルデータ) 調査を実施した。平成 15 年に調査した在カイロ同郷組合員に対する追跡世帯 (パネルデータ) 調査 (200 世帯) を実施した。これらの世帯調査村・町において、平成 14, 15 年に作成したデジタル地図を更新するため、地理情報関連データを収集した。このなかで、最もオリジナリティに富む成果は、〔雑誌論文〕に代表される家族・親族の分析、〔雑誌論文〕に代表される村落形態の分析、〔雑誌論文〕に代表される大カイロ低所得地区住民の貧困分析である。これらすべてにおいて、データ・情報に統計分析と空間分析が施され、これまでには知られていなかった多くの知見が得られた。

(4) ヨルダンでは、以下のような研究成果を得た。首都アンマンを除く、都市部・農村部を含む地方での世帯調査 (世帯数 4,000) を実施した。定点観測の拠点として、ヨルダン北西部の山岳地帯にあるカフル・マー村を選び、そこで世帯調査 (世帯数 600) を実施した。また、同時に、村のデジタル地図を作成した。ヨルダンでのデータ・情報収集の本格的な開始はプロジェクト期間の後半であったため、現在、データベース作成は完了したが、その解析には至っていない。今後、その解析結果は、順次、国内と海外での学会や国際会議での報告・発表や、学術雑誌などでの論文執筆によって公表する予定である。

(5) 本研究の経過中の 2010 年末から 2011 年にかけて、アラブ民衆の民主化運動である「アラブの春」が起きた。そこで、本研究の後半では、「アラブの春」とりわけエジプト革命の社会経済的背景の解明に全力を尽くしたが、その一環として、2010 年、2011 年、2012 年にエジプト国民に対する意識調査 (サンプル数はそれぞれ 1,500, 900, 1,500) と革命に関連して青年たちにフォーカスグループによる調査を実施した。その分析結果は によって発表されたが、それらを総合したのが、〔図書〕の加藤博・岩崎えり奈『現代アラブ社会 - 「アラブの春」とエジプト社会』(東洋経済新報社、2013 年) である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 35 件)

加藤博・岩崎えり奈「エジプト革命のディレンマ - なぜ若者は疎外され、イスラム政党は排除されたのか」『世界』855号, 232 - 241 頁, 2014 [査読無]

H. Kato, H. Tsumura and E. Iwasaki “GIS as a Tool for Researching the Socioeconomic History of Modern Egypt”, *Journal of Asian Network for GIS-based Studies (JANGIS)*, Vol. 1, pp.22-32, 2013 [査読有]  
[http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~angis/jangis\\_j.html](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~angis/jangis_j.html)

E. Iwasaki and H. El-Laihy “Estimation of Poverty in Greater Cairo: Case Study of Three ‘Unplanned’ Areas” *African Development Review*, vol.25, pp.173-188, 2013 [査読有]

DOI:

10.1111/j.1467-8268.2013.12022.x

岩崎えり奈「エジプトの革命と貧困 モラル・エコノミーの観点から」『神奈川大学評論』第76号, 64-74 頁, 2013 [査読無]

柏木健一「第10章 GCC 諸国への出稼ぎ労働移動が中東・南アジア諸国に及ぼす影響」秋葉まり子編著『グローバルイゼーションの中のアジア：新しい分析課題の提示』弘前大学出版会, 231-265 頁, 2013 [査読無], 289 頁 (図書所収論文)

H. Kato, E. Iwasaki, R. Kimura, S. Elbeih, E.S. Zaghloul “Land Use Change and Crop Rotation Analysis of a Government Well District in Rashda Village - Dakhla Oasis, Egypt Based on Satellite Data” *The Egyptian Journal of Remote Sensing and Space Sciences* No.15, pp.185-195, 2012 [査読有] DOI: 10.1016/j.ejrs.2012.09.003

岩崎えり奈「エジプトにおける「革命」の社会経済的背景 人工, 失業, 貧困」土屋一樹編『エジプト動乱 1.25 革命の背景 アジ研選書 No.32』(図書所収論文), アジア経済研究所, pp.111-135, 2012 [査読有] 142 頁

加藤博・岩崎えり奈「「革命」の前後でエジプト国民の政治意識はどう変化したか」『東洋文化研究所紀要』160 冊, 259-322 頁, 2011 [査読有]  
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/pub/kiyou.html#160>

加藤博・岩崎えり奈「エジプト農村の世帯・家族構造」『東洋文化研究所紀要』159 冊, 171-210 頁, 2011 [査読有]  
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/pub/kiyou.html#159>

加藤博・岩崎えり奈「エジプトの村落地

図」『一橋経済学』4(1)号, 131-172 頁, 2011 [査読無]

<http://hdl.handle.net/10086/18906>

T. Ino, H. Kato, E. Iwasaki “Political Attitudes of the Egyptian Public in a Regional Context” 『日本中東学会年報』Vol.27(1), pp.121-148, 2011 [査読有]  
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110008687358>

北澤義之「アラブ・ナショナリズム再考 フスリーのナショナリズム思想に寄せて」『京都産業大学論集人文科学系』44号, 38 - 65 頁, 2011 [査読有]  
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110008682394>

O. Saito “The Stem Family and Labour Markets: Reflections on Households and Firms in Japan's Economic Development” *The History of the Family*, Vol.16, pp.466-488, 2011 [査読有]

DOI: 10.1016/j.hisfam.2011.07.005.

松本弘「イエメンの混迷 その背景と特質」『国際問題』No.605, 38-47 頁, 2011 [査読無]

加藤博「アラブは「近代」を克服できるか」『世界』6月号, 222 - 230 頁, 2011 [査読無]

H. Kato and E. Iwasaki “Village Association in Cairo: A Study on Urban-Rural Relationship in Egypt” 『日本中東学会年報』Vol.26(1), pp.1-40, 2010 [査読有]  
<http://ci.nii.ac.jp/naid/110007703369>

加藤博「エジプト農村における「家族」(アーイラ) - 19 世紀中葉オアシス村落に関する住民登録文書に基づいて」『東洋文化研究所紀要』157 冊, 83 - 120 頁, 2010 [査読有]  
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/pub/kiyou.html#157>

H. Kato et al. “Rashda: System of Irrigation and Cultivation in a Village in Dakhla Oasis” *Mediterranean World*, Vol.20, pp. 1 - 45, 2010 [査読無]  
<http://hdl.handle.net/10086/19205>

岩崎えり奈「エジプトにおける零細企業の空間分布の変遷：1960～2006年」土屋一樹編『中東アラブ諸国における民間部門の発展』研究双書 No.590, アジア経済研究所, 173 - 211 頁, 2010 [査読有] 218 頁 (図書所収論文)

柏木健一「エジプト労働市場における民間部門の発展と構造的課題」土屋一樹編『中東アラブ諸国における民間部門の発展と課題』研究双書 No.590, アジア経済研究所, 69 - 106 頁, 2010 [査読有] 218 頁 (図書所収論文)

- ②1 K.Kashiwagi “Productivity Growth, Technological Progress and Technical Efficiency Change in Egyptian Economy” *The Journal of International Public Policy*, Vol. 26, pp. 67 - 80, 2010[査読有]

〔学会発表〕(計 30 件)

H.Kato and E. Iwasaki “GIS as a Tool of Linking Different Socioeconomic Spaces: Study of Urban-Rural Migration to Cairo” The 2nd ANGIS (Asian Network for GIS-based Studies) Meeting 2013, Kyoto University, December 9, 2013, Kyoto

H. Kato, S.F. Elbeih, E. Iwasaki, E. Sefelnasr, A.A. Shalaby, and E.A. Zaghoul “The Relationship between Groundwater Resources, Land use, and Demographic Characteristics, Using Remote Sensing and GIS Techniques, Dakhla Oasis, Egypt” The 2nd ANGIS (Asian Network for GIS-based Studies) Meeting 2013, Kyoto University, December 9, 2013, Kyoto

H. Kato “The Unifying of Historical Data to Geographical Information by GIS for the Study on the Socio-economic History of Egypt” 1st Meeting of the Project at JaCMES “Human Mobility and Multi-ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies”, Beirut, February 25, 2013, Lebanon

E. Iwasaki and H. Kato “Social Environment, Irrigation and Cultivation in Rashda Village” The 4th Egyptian Japanese Joint Symposiums on “Remote Sensing and Its Application; From Archaeology To Social Sciences” National Authority for Remote Sensing and Space Sciences (Cairo), September 12, 2012, Egypt

S.F. Elbeih, E. Iwasaki, H. Kato “Irrigation and Land Use in Rashda Village - Case Study of Well No.3 District, Based on Satellite Data” The 4th Egyptian Japanese Joint Symposiums on “Remote Sensing and Its Application; From Archaeology To Social Sciences” National Authority for Remote Sensing and Space Sciences (Cairo), September 12, 2012, Egypt

岩崎えり奈「世帯調査からみたシーディー・オクバ村」早稲田大学イスラーム地域研究機構公開講演会『ナイル・デルタの環境と文明 プヘイラ地方をめぐる学際的地域研究』早稲田大学, 2011年12月10日, 東京都

加藤博・岩崎えり奈・柏木健一「経済の

グローバル化とエジプトの繊維産業」アジア政経学会 2011 年度全国大会, 同志社大学, 2011年10月16日, 京都府

E. Iwasaki “Income Distribution in Rural Egypt: Case Study of Three Villages” International Symposium “Construction of Longitudinal Network with Middle Eastern Countries: Toward the Mutual Understanding and Development of Joint Researches 3” Hitotsubashi University (Tokyo), January 29, 2011

K. Kashiwagi “Technical Efficiency of Production of Textile Industry in Egypt” International Symposium, Construction of Longitudinal Network with Middle East Countries: Towards the Mutual Understanding and Development of Joint Research, Hitotsubashi University (Tokyo), January 29, 2011

北澤義之「ヨルダンの言語教育とナショナリズム フスリーの教育思想との比較において」教育史学会, 早稲田大学, 2010年10月10日, 東京都

H. Kato “Multiple Identity of the Arab People Based on the Results of Recent Poll Survey” The Second World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES), Barcelona University (Spain), July 20, 2010

E. Iwasaki “Regional Differences in Social Consciousness within Egypt” The Second World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES), Barcelona University (Spain), July 20, 2010

加藤博「多元的歴史叙述をめざして」アジア経済研究所 50 周年記念・発展途上国研究奨励賞受賞者連続講演会, アジア経済研究所, 2010年7月7日, 東京都

加藤博「1830-1840 年代の豊穡なるエジプト」東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所公開講演会, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 2010年5月22日, 東京都

岩崎えり奈「エジプトにおける社会意識の地域差 - 「エジプト世論調査 2008 年」に依拠して - 」日本中東学会第 26 回年次大会, 中央大学, 2010年5月9日, 東京都

加藤博「ナポレオン『エジプト誌』と近代文明」日本中東学会第 26 回年次大会 公開講演会・シンポジウム, 中央大学, 2010年5月8日, 東京都

〔図書〕(計 4 件)

加藤博・岩崎えり奈『現代アラブ社会論 - 「アラブの春」とエジプト革命 - 』東洋経済新報社, 320 頁, 2013 年

加藤博『ムハンマド・アリー 近代エジ

プトを築いた開明的君主』世界史リブレ  
ット人 067, 山川出版社, 88 頁, 2013  
年

松本弘『中東・イスラーム諸国民主化ハ  
ンドブック』明石書店, 554 頁, 2011 年

加藤博『イスラーム経済論 イスラームの経  
済倫理』書籍工房早山, 238 頁, 2010 年

〔その他〕

ホ - ム ペ - ジ 等  
<http://www2.econ.hit-u.ac.jp/~areastd/egypt/>  
<http://www2.econ.hit-u.ac.jp/~kato/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

加藤 博 (KATO, Hiroshi)

一橋大学・名誉教授

研究者番号: 1 0 1 3 4 6 3 6

### (2) 研究分担者

柏木 健一 (KASHIWAGI, Kenichi)

筑波大学・人文社会系・准教授

研究者番号: 0 0 4 4 7 2 3 6

松本 弘 (MATSUMOTO, Hiroshi)

大東文化大学・国際関係学部・教授

研究者番号: 1 0 4 0 7 6 5 3

岩崎 えり奈 (IWASAKI, Erina)

上智大学・外国語学部・教授

研究者番号: 2 0 4 3 6 7 4 4

斎藤 修 (SAITO, Osamu)

一橋大学・名誉教授

研究者番号: 4 0 0 5 1 8 6 7

北澤 義之 (KITAZAWA, Yoshiyuki)

京都産業大学・外国語学部・教授

研究者番号: 9 0 2 5 7 7 6 7